

チャペル週報

人よ、何が善であり
主が何をあなたに求めておられるかは
あなたに告げられている。
正義を行い、慈しみを愛し
へりくだって神と共に歩むこと、これである。
(ミカ書 6:8)



2006.10.23 ~ 10.27 No.17
関西学院宗教センター

チャペル・スケジュール

時間 10:35 ~ 11:05 場所 各学部チャペル

10月23日(月) 神 『詩編』シリーズ 水野隆一(神学部教授)
経 人間を考える 岡田敏裕(経済学部専任講師)

10月24日(火) 院 土 井 健 司(神学部助教授)
神 HABITAT
文 田 淵 結(宗教主事)
社 いのちを考える 浅田壽男(社会学部教授)
法 栗 林 輝 夫(宗教主事)
経 人間を考える 田村和彦(経済学部教授)
商 阪 智 香(商学部助教授)
総 アメリカ海外授業体験(今泉ゼミ3年生)

10月25日(水) 神 トーンチャイム隊による音楽礼拝
社 いのちを考える 難波攻士(社会学部教授)
法 Christian M.Hermansen(宣教師)
経 舟 木 讓(宗教主事)
商 献血実行委員会によるチャペル
理 「喰わず嫌い」皿谷 敦(神戸三田キャンパス事務)
総 鎌 田 康 男(総合政策学部教授)

10月26日(木) 神 木 原 桂 二(M1)
文 English Chapel Andreas Rusterholz(宣教師)
法 音楽チャペル 関西学院聖歌隊
経 人間を考える 藤原憲二(経済学部助手)
商 森 本 達 夫(商学部教授)
総 国連研修セミナー体験(総合政策学部学生)

10月27日(金) 神 赤 刎 正 清(M2)
文 田 淵 結(宗教主事)
社 音楽チャペル: 関西学院聖歌隊
経 人間を考える 巖 廷美(経済学部助教授)
商 藤 野 真 子(商学部助教授)
理 「思い通りにはいかない!」松木真一(宗教主事)

ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20~8:40 於:ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)
10月27日(金) 文学部のために 中 澤 清
総合政策学部早天祈祷会 毎水曜日 午前8:40~ 於 I号館312教室

「思いやり」

樋 口 進

最近、いじめを受けて自殺するという事件がよく起こります。私たちはこういうニュースに接する度に心を痛めます。

先日も福岡県の中学2年の男子生徒が、いじめを受けたという遺書を残して自殺したという事件がありました。そしてその生徒が1年生の時に、担任教諭によって不適切な言動を繰り返し受けていたというのです。何と「思いやり」のないことと思います。

また、北海道の小学6年生の女子生徒がいじめを訴える遺書を残して教室で首をつって死んだという事件もありました。その遺書には「キモイと言われてとてもつらくなりました」などと書かれていたというのです。これまた、何と「思いやり」のないことかと思えます。

「思いやり」というのを『広辞苑』で調べてみると、「自分の身に比べて、人の身について思うこと」とあります。別の言葉で言うと、「その人の立場に立って思う」ということではないでしょうか。イエスの有名な言葉に、「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなた方も人にしなさい。」というのがあります(マタイ7:12)。これは最も大切な教えだということで「黄金律」と言われています。「その人の立場に立って思う」ということはとても大切なことですが、それが中々出来ないというのもまた人間の悲しい現実です。これが出来れば、世の中は幸せになると思えます。

今の日本は、このような「思いやり」の心に欠けているのではないのでしょうか。そのために心を痛めるような悲しい事件が、次から次へと起こっています。

人間はしばしば言葉に傷つきます。人から言われた厭な言葉に落ち込むこともよくあります。それがひどい場合には、自殺にも追い込まれます。旧約聖書の箴言12章18節に、

軽率なひと言が剣のように刺すこともある。

知恵ある人の舌は癒す。

という言葉があります。人に対する一言の言葉がひどく傷つけることもあります。また逆に一言の言葉が人を癒すこともあります。人の立場に立って、「思いやり」のある生き方をしたいものです。

(宗教センター宗教主事)

関西学院のクリスマス関連行事

学部合同アドベント・チャペル(上ヶ原キャンパス)

12月1日(金) 10:35~11:05 中央講堂

KSCクリスマス・オルガンコンサート

12月4日(月) 12:45~13:25 KSCランバスチャペル

アドベント礼拝 クリスマスツリー点灯

12月4日(月) 18:30

西宮上ヶ原キャンパス 中央芝生

神戸三田キャンパス KSCランバスチャペル

ランバス演奏会「クリスマスコンサート」平井満美子(うた)&佐野健二(リュート)

12月5日(火) 17:00 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

KSCクリスマス・オルガンコンサート

12月8日(金) 12:45~13:25 KSCランバスチャペル

大学合同クリスマスチャペル

12月11日(月) 10:20~11:20

上ヶ原キャンパス 中央講堂

神戸三田キャンパス 理工学部チャペル

オルガンコンサート「サウンド・オブ・クリスマス」

12月12日(火) 16:50 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

大阪梅田キャンパスクリスマス

12月13日(水)

コンサート 17:00 アプローチタワー1F ガレリア

クリスマス礼拝 18:00 アプローチタワー14F

関西学院聖歌隊キャンドルライトサービス

12月14日(木) 17:00 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

関西学院クリスマス礼拝 音楽で祝う降誕

神戸三田キャンパス 12月7日(木) 18:30 号館201

上ヶ原キャンパス 12月15日(金) 17:00 中央講堂

「メサイア」コンサート 関西学院聖歌隊

12月20日(水) 17:00 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール

12月21日(木) 18:30

聖書の植物(11) モミノキ

エゼキエル書31:8において新共同訳聖書で「樅」と訳されている語は、ヘブライ語でベローシュであるが、この語は他の所では大体「糸杉」と訳されている(王上5:22 詩104:17 雅1:17 イザ14:8 41:19 エゼ27:6 ホセ14:9など)。新改訳聖書では多くは「もみの木」と訳されている。日本で「樅」というとクリスマスツリーに用いられるマツ科の常緑高木をさすが(吉岡記念館横の「ベルスクウェア」に植えられているのもこれ)、聖書に出るのはこれとは別の種類の糸杉のようである。

糸杉は、ヒノキ科イトスギ属の針葉樹で、南ヨーロッパ原産である。学名をCupressus sempervirensと言うが、キプロス島の名はこの木の名をとってつけられた。樹高15~18mに達し、筆を立てたように先細りに空に伸びる姿は美しい。果実は小さな球形をしており、乾くと亀甲形の亀裂を生じる。材質は堅く、船材(エゼ27:5)や神殿の床(王上6:15)などに用いられた。エジプトではこれが棺材として用いられた。またこの木の樹形から、多産の象徴となり(ホセ14:9)、美しさのたとえとされた(雅1:17)。この枝からはイトスギ油が採取され、香料や咳止めに用いられる。